

福祉の総合専門誌

昭和25年2月10日第3種郵便物認可 令和3年8月1日発行（毎月1回1日発行） 第101巻第9号 ISSN 1341-6669

月刊福祉

Monthly Welfare

8

August
2021

■特集 刑事司法と福祉の連携

論文 罪を犯した人のその後 法務省矯正局成人矯正課・少年矯正課
レポート 出所者の生活への関わり(孤立防止、住まい・就労支援)

ほか

ステップ2：福祉の立場からできる SDGsを考える（座談会）

SDGsを正しく理解し、組織体制や事業を見直すこと、地域共生社会の実現に向けて社会福祉分野でSDGsの視点を取り入れてできる実践を皆さまと考えていくコーナーです。

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特任助教

高木 超

× 福祉の現場でSDGsを実践している皆さん

今月のPoint

17のゴールが相互につながり、相乗効果とトレードオフの両方をもたらす

高い目標を設定すると発想の転換ができ、新しい取り組みが生まれる

SDGsと福祉は親和性が高い

今号からは「福祉の立場からできるSDGsを考える」をテーマに、研究者の中木超さんからSDGsの特徴と活用方法について解説いただき、その後、SDGs実践者である3名の福祉関係者の皆さんとの議論を通じて理解を深めていきます。

SDGsの特徴と活用方法

高木 ひとつめの特徴として「インターリンケージ」についてお話しします。インターリンケージとは複数のモノ、コトが相互につながっていることです。17のゴール（欄外に記載）もお互いにつながっています。例えば

「貧困をなくそう」という1番の目標に向かって開発途上国の開発に取り組むことで、2番の「飢餓をゼロに」という目標も一緒に達成できることがありますが、その一方で、開発で森林破壊がすすみ15番の「陸の豊かさも守ろう」という目標には、負の影響が及ぶことも考えられます。このように相乗効果とトレードオフ（代償）の両方がもたらされることも視野に入れて取り組んでください。

もうひとつの特徴は、目標から逆算して考える「バックキャスティング」のアプローチであること。まず現状の分析をして目標を設定し、その目標を

[SDGs 17のゴール] 1貧困をなくす 2飢餓をゼロに 3すべての人に健康と福祉を 4質の高い教育をみんなに 5ジェンダー平等を実現しよう

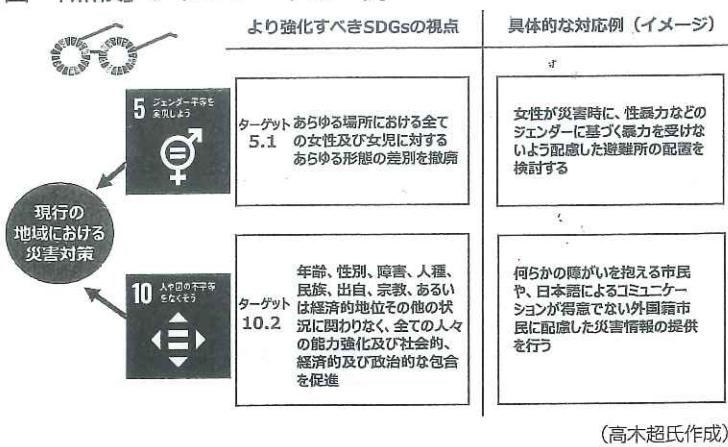
達成するために何をすべきか考えます。

ポイントは前例にとらわれない方法で

取り組むことです。目標を思い切つて

高いところにおきましょう。目標が高くなると、発想の転換が求められ、法人の外部の人との連携など、これまでとは違うやり方が生まれます。

図 「点検」アップデートの一例



(高木超氏作成)

次に活用方法ですが、「整理→点検

→共有」という3つの機能についてお

伝えします。まず、その取り組みがど

の「ゴールの達成に貢献するかを「整理」していき、目標だけではなくターゲットまで見ることをお勧めします。

そして、SDGsの観点から、自分たちの取り組みにたりないものは何か

を「点検」しましょう(図)。

例えば、「災害対策事業を点検する」とで「5番のジエンダー平等の視点がない」とに気づき、「女性が性暴力を受けないような避難所のレイアウトを考えることにつなげることができます。このように事業をアップデートする」とができるので、皆さんの活動に役立つ機能です。

アップデートしてさらによいものにできたら、自分たちの活動だけにとどめるのではなく、ほかの法人と「共有」してください。SDGsは共通言語ですので、新しいコミュニケーションや

パートナーシップにつながります。

SDGsを知ったきっかけ

高木 では、福祉現場の皆さんにお話をうかがっていきます。SDGsを

知ったきっかけからお話しください。

園田 きっかけはふたつあります。私

は認定こども園の園長や高齢者施設のマネジメントを担っていますが、30代前半に大学院で学び直した経験があり

ます。そこでESD(Education for Sustainable Development)「持続可能な開発のための教育」の授業を受けたことで、持続可能な社会づくりや、人間社会と環境との磨擦など、いろいろな気づきを得ることができました。

もうひとつは、経営者のための塾に参加した時に、一般の中小企業の経営者の皆さんのが地域のこと、社会のことを見直して取り組んでいると知つたことです。優秀な中小企業は常利を厳しく追求しているというイメージを

6 安全な水とトイレを世界中に 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう

抱いていたのですが、まつたくの偏見であつて、私も触発されました。

保岡 私がSDGsを知ったのは4年ほど前の春。東京の新橋駅のSL広場で、何人の男性が同じバッジをつけていたので「何だろう」と調べたらSDGsのバッジでした。当時は大手企業や銀行の方がこのバッジをつけていて、そこから興味をもつた次第です。

藤岡 私も2年前に、施設外就労の活動先の企業の方がつけていたバッジを見たことがきっかけです。また昨年、大学の先生に私たちの法人の取り組みを検証していただいたのですが、「SDGsとしてとらえることができる活動で、世界貢献しているんだよ」と教えていただき、とても驚きました。

法人の事業につなげた経緯

高木 次に、SDGsに取り組んだ理由について教えてください。

園田 私たちの法人は、10年ほど前に

先ほど申し上げたESDの取り組みを地域住民とともに始めたのですが、SDGsに関しては、法人の活動と重ね合わせることはしませんでした。しかし、3年ほど前、社会福祉法人佛子園の「Share（シェア）金沢」を見学した時、実は重なる部分が多いことに気づき、SDGsのゴールを意識した経営を取り入れていく必要があると考え、動きだしました。

保岡 私は20年前に福祉業界に転職しましたのですが、立派な福祉インフラがありながら地域に開放されていないことに違和感を抱きました。「私たちは施設の中の利用者しか幸せにしていない。本当に福祉の支援が必要な地域の方に届いていない」という思いがあつて、まず、当法人のケアハウスに本格的なカフェを開業して地域に開放しました。このカフェをきっかけに地域との交流が始まり、情報もどんどん入ってくるようになりました。

SDGsと福祉の親和性

高木 では実際に取り組みをすすめる

さらに私たちは2年前に法人独自のSDGsをつくりましたが、これは今後10年を見据えた中長期目標です。私たちの法人が基軸となつて、ほかの法人や企業とも連携しながら地域の持続性と発展に取り組んでいきたい。その際は、共通言語であるSDGsに当っていくと浸透しやすいし、ほかの人にも伝えやすいと感じています。

藤岡 先ほどお話ししたように大学の先生からのお話がきっかけです。これまで私たちが取り組んできたことが、SDGsに、どう関連づけられるかという振り返りの機会になりました。また、来年度に新事業所を立ちあげるのでも、どのような目標を設定するか検討しているところですが、高木先生のご指摘のように、先を見据えた高い目標を立ててみたいと思います。

なかで、SDGsと福祉は親和性が高いと感じますか？また、どの目標とつながりやすいですか？

園田 11番「住み続けられるまちづくり」がつながりやすいと感じています。私たちは10年前から年4回ペースで福祉をテーマに住民と職員が腹を割つて語る場を設けてきました。福祉ネタを皆で語り合うと、地域の課題や困りごとも知ることができますが、なぜかすごく楽しいんですね。この楽しいノリで、福祉的な要素でまちづくりを推進してきました。結果、困窮しきる前の早めのSOSや周囲からの情報提供が増え、手応えを感じています。

保岡 そもそもSDGsは、福祉と非常に親和性が高いと思います。私たちの法人の事業は多岐にわたっているので1～12番、16、17番は日頃から取り組んでいます。子ども食堂や学童保育も展開していますし、母子生活支援施設も開設することになりました

た。そこで、ほかの法人の皆さんに「私たちでもできる」と思ってもらえるようなプロトタイプを示していくたないと考えているところです。

藤岡 私は、最初17の目標を見たとき、とても手が届かないと思ったのですが、そうではなく一人ひとりがひとつでも達成することで世界が変わっていくのだと今ではとらえています。

障害のある人が地域で暮らすためには私たちの施設だけががんばってもできないので、「パートナーシップで目標を達成しよう」という17番の「ゴールは大切です。また障害のある方が自立して働き続けるためには11番のまちづくりの目標も核になるのではないでしょうか。新事業所を立ちあげるにあたっては、3、4、8、10番などが関わってくると思います。

高木 ありがとうございます。福祉とSDGsは親和性が高く、特に3、4、8、11、17番などがつながりやすいと

いうお話をしました。次回は、皆さんに法人の取り組みをご紹介いただきます。

慶應義塾大学大学院
政策・メディア研究科
特任助教
高木 超
(たかぎ・こすも)



大阪府／
社会福祉法人
豊悠福祉会 理事長
園田 裕紹
(そのだ・ひろあき)



徳島県／
社会福祉法人
あさがむ福祉会
CEO
保岡 伸聰
(やすおか・のぶとし)



三重県／
社会福祉法人
維雅幸育会
ふっくりあハウン
副所長
藤岡 絵都子
(ふじおか・えつこ)



【SDGs 17のゴール】 14海の豊かさを守ろう 15陸の豊かさも守ろう
16平和と公正をすべての人に 17パートナーシップで目標を達成しよう